

市内幼稚園・保育園・認定こども園の通園バス及び 小学校のスクールバスの安全対策について

福岡県の保育所や静岡県認定こども園で送迎バスに置き去りにされた園児が熱中症により死亡するという大変痛ましい事案が発生しました。

このことを受け、本市の幼稚園や小学校における児童の登園・登校確認と送迎バスの利用状況について把握し、今後の安全管理対策に関する取り組みに活用するため、調査を実施しました。

1 調査概要

調査期間:令和5年1月17日～令和5年1月24日

調査対象:市内私立幼稚園 2園、市内市立小学校 5校

2 市内施設における送迎バスの状況

	施設数	送迎バスの有無	備 考
保育園	6園	なし	
認定こども園	11 園	なし	
幼稚園	2園	あり(2園)	青竜第二幼稚園、扇が丘幼稚園
小学校	5校	あり(3校)	野々市小学校、御園小学校、富陽小学校

3 調査結果

市内の幼稚園や小学校では送迎バスの乗降時には出欠表の名簿を用いて点呼や目視による確認を行うほか、施設内においても出欠について電話やICTの活用、連絡帳、FAX等により確認されていることが確認できました。

アンケートの内容及び結果は別紙(資料7-2) 参照

4 今後の対応

「送迎用バスへの安全装置の装備」については令和6年3月末までの経過措置はありますが、可能な限り、令和5年6月末までに装備するよう働きかけを行うとされております。市内幼稚園の状況は2園共に設置予定等となっております。今後、子どもの安全と保護者の安心につながるよう早期のマニュアル整備と併せて安全装置の装備についても促していきたいと思っております。